

R による線形混合効果 (LME) モデルを使った反応時間実験データの分析法



反応時間パラダイム(reaction time paradigm)を使った実験の反応時間(ミリ秒)および正誤(0と1)データの分析には、線形混合効果(linear mixed-effects, LME)モデルが使われることが多くなりました。そこで、今回のワークショップでは、Rを使って、一般的なLMEの分析法を紹介し(分析の手順は今回紹介する方法ではありません)。①分析前のExcelによる反応時間と正誤判断データの編集、②RStudioの基本設定(作業ディレクトリとファイルの取り込み)③変数の対数および逆数変換と有効性の検討、④LMEの基本概念(固定変数とランダム変数)、⑤LMEの分析コマンドと交互作用、⑥LMEの結果報告、⑦その他のLMEに関連したコマンド、です。90分の2コマ(180分)で紹介し(あくまでLMEの分析の基本的な解説)ます。R自体の講習会ではありません。なお、参加者はRおよびRStudioをインストールしたラップトップ・コンピュータをご持参ください。講習会の後で、5時から近所のイタリアン・バルで懇談会を予定しています。ぜひ、こちらにもご参加ください。

参加は自由、資料代は1,000円、予約の必要はありません。

日時: 2017年4月22日(土), 13:00-16:30(30分の休みを含む)

場所: 名古屋大学教養教育院 405号室

http://www.nagoya-u.ac.jp/upload_images/campus_map_jp.pdf
の地図 B4 のビル

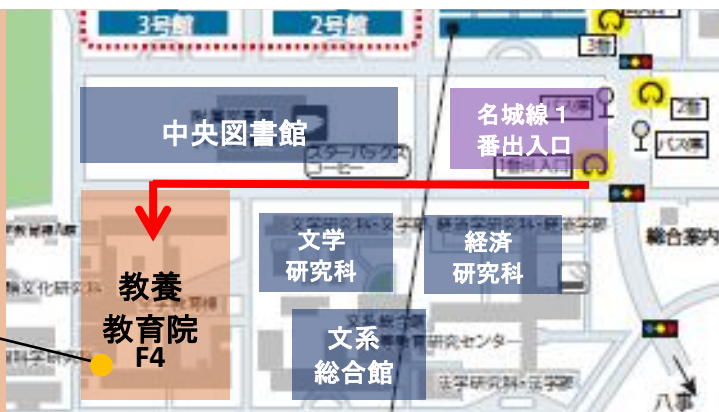
講師: 名古屋大学教授 玉岡 賀津雄

問い合わせ: tamaoka@nagoya-u.jp



地下鉄駅からの会場案内:
地図に示したように、名城線名古屋大学駅1番出入口から、右側へ直行してください。会場まで徒歩では5分くらいかかります。

会場はココ



豊田講堂